

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 7

命の中で、自己の姿から救われる

聖書：ローマ5:10. 1:3-4. 8:19, 26-29. エペソ1:5. マタイ16:21-26

I. 神の子たちである、キリストにある信者として、わたしたちは命の中で、自己の姿から救われる必要があります——ローマ5:10. 8:29. マタイ16:21-26：

- A. 自己の姿とは、自己の表現、現れです——24節。
- B. 神の御子にある命は、そのような自己の表現からわたしたちを上手に救うことができます——ローマ5:10。
- C. わたしたちが自己のビジョンを見る必要があるのは、自己が暴露され、否まれるためです——マタイ16:21-26：
 - 1. 自己は魂の命であり、その強調点は、人の考えや意見にあります——23節。
 - 2. 自己はサタンの具体化です。自己は、魂にあるサタンの本質であり、魂を神から独立させて、自己の意見と自己の意志を表現させます——24節：
 - a. 自己の起源は、サタンが彼の考えを人の思いの中に注入したことです——創3:1-6。
 - b. 魂が自己になったのは、サタンの何かが魂に加えられた時です。魂に加えられたものは、サタンの考え、思いでした——マタイ16:23. II コリント11:3。
 - c. 自己は、サタンのような思いが加わった魂です——マタイ16:23-25。
 - 3. キリストが神の具体化、表現であるように、自己はサタンの具体化、表現です——コロサイ2:9. 1:15. マタイ16:23-24。
- D. キリストの命の中で、自己の姿から救われることは、自己から救われることです——ローマ5:10。

II. キリストの命の中で、自己の姿から救われる道は、神の長子のかたちに同形化されることです——8:29：

- A. 造り変えよりも高い、信者の造り変えの究極の完成である同形化は、命の形成を表しています——29節. 12:2：
 - 1. 造り変えは内側のもので、本質の事柄であり、形の変化を含みますが、同形化は外側のもので、形成の事柄です——2節. 8:29. II コリント3:18. ペリピ3:10, 21。
 - 2. 主はわたしたちを聖別し、わたしたちを造り変えており、それはわたしたちが彼のかたちに同形化されるためです。したがって、造り変えは同形化という結果になります——ヘブル2:11. 13:12。
 - 3. 神聖な命がわたしたちの内側で成長し、わたしたちを造り変えるにつれて、それはわたしたちを徐々に神の長子のかたちに形成します——II ペテロ3:18. ローマ8:2. ヘブル2:10。
- B. 同形化がわたしたちを神の長子のかたちに同形化するために、ローマ書第1章3節

から4節と第8章29節を結び付ける必要があります：

1. キリストの神性と栄光は彼の肉体の中に隠されています。だれもビジョンを持って、彼の肉体を透視して、彼が栄光の神の御子であることを見ることはできませんでした。
2. 彼は死と復活の手順を経た後、神の御子と明示されました。すなわち、彼は神の御子としてしるし付けられ、現されました。
3. 復活を通して、キリストは彼の霊においてだけでなく、彼の肉体においても、神の**聖別**の本質で満たされた神の長子となりました——1:4。
4. 肉体となることと十字架と復活を通して、神の御子キリストは長子となりました。そして、キリストの兄弟たちである多くの子たちは彼のかたちに同形されつつあります——ヘブル2:10-11. ローマ8:29。
5. ローマ書第1章3節から4節では、神の御子キリストは原型であり、第8章29節では、多くの兄弟たちは原型から「大量生産された」者たちです：
 - a. 第1章3節から4節では、ひとりの御子が明示されますが、第8章29節では、多くの子たちが同形化されます。
 - b. 御子が明示されることは原型と関係がありますが、多くの子たちが同形化されることは「大量生産」の働きです。
 - c. 原型を得たので、神は今、長子のかたちをもつ多くの子たちを生み出すために、「大量生産」を持つことを求めています。
 - d. 第1章4節で、わたしたちは原型の形成を持ちますが、第8章29節では、「大量生産」の働きを持ちます。
 - e. 第1章4節で、わたしたちは個人的な神の御子の明示を持ちますが、第8章29節では、団体的な多くの子たちの浸透、聖別、同形化、明示を持ちます。原則は同じです。
 - f. 死と復活の過程を通して、聖別の霊（神聖な聖別の本質）が主の肉体を含む彼の人性に浸透、飽和しました——1:4。
 - g. 主イエスにある信者として、わたしたちの霊の中にも、神聖な聖別の本質である聖別の霊があります——8:16. I コリント6:17。
 - h. この聖い本質はわたしたちの人性の内側に隠されているので、わたしたちは神の主権ある案配の下で、一つの過程を経る必要があります。その過程は、この本質がわたしたちの全存在に浸透、飽和することができるようにします——エペソ3:17。
- C. その霊はわたしたちのためにとりなし、また、神はわたしたちが長子のかたちに同形化されるために、すべてが共に働くようにさせます——ローマ8:26-29：
 1. キリストは鋳型であり、その霊は、わたしたちに起こるあらゆることが、わたしたちをこの鋳型に、すなわち、神の長子のかたちにはめ込むように祈ります——26-27節。
 2. わたしたちがうめくことで、とりなす霊はわたしたちが、神の長子である、復活したキリストのかたちに同形化されるように祈ります——26節。
 3. 父なる神は主権があり、万事を案配し、わたしたちにとって何が最善であるかを

知っています。彼はすべてが共に働いて益とならせること（すなわち、わたしたちが神の長子のかたちに同形化されて、三一の神の団体の表現になること）によって、その霊のとりなしに応えます——28-29節。

D. わたしたちは神の長子（すなわち、最初の神・人であるキリスト）のかたちに同形化される過程の中にいますが、それは神が一団の神・人（すなわち、命において完全に成長した、義と聖別において神と同じ人たち）を得るためです——Ⅱコリント 3:18. エペソ4:24:

1. キリストが神の長子となるために、彼は彼のかたちに同形化された、わたしたち「双子」（複数）を必要とします——ローマ8:29。
2. わたしたちが自己の姿から救われて、神の長子であるキリストのかたちに完全に同形化されたとき、わたしたちは実際のある神の子たちとなって、あらゆる点で神の子たちの現れを帯びるようになります——14, 19節. ヘブル2:10。
3. わたしたちは神の長子のかたちに同形化されるべきあり、それはわたしたちが一団の神・人となって、彼と全く同じようになるためです——ローマ8:29。
4. このようにして、キリストは神の多くの子たちの間で長子となりますが、それは神が多くの子たちを伴う彼の長子の団体の表現を得て、彼の永遠の定められた御旨を達成するためです——エペソ1:5, 11. 3:11. ヘブル2:10. 啓21:7。

© 2021 Living Stream Ministry